（十五日夕刊）

磐城新聞

（大正十年四月二十二日第三種郵便物認可）　昭和四年七月十六日　磐城新聞　〔火曜日〕　第二千五百八十五號（一）

休刊　毎月第一第三日曜
定價　壹ヶ月壹圓二十五錢、郵稅十錢
廣告料　一行半金拾錢（特定廣告料別）
發行兼編輯印刷人　鵜島縣平町田町拾六　運沼龍輔
發行所　磐城新聞社

日立鑛山視察記（上）

早大新聞研究生　齋藤昌武

炎熱の夏が來た！然しそして稼行したと傳へらる文久元治の頃、常陸の人大塚源衛門と云ふ人水戸藩の許しを得て學業を起せしが當時世界だつた學徒遠征夏休は拾も藩内騒擾の時なりした着々實社會への接觸をくはめ一度工やみ三十四年赤澤だてられつゝある、皆分る工業會社の手に移りしばし陽光しげき七月中旬休暇を利用し常磐線の助川に向つ三十八年十二月前遞信大臣それには久原氏の經營する日立鑛山を視察するこ

ふ目的があつた、この附近である、鑛床は角閃片岩及を通る旅客はたれしも車窓雲母片岩中に層狀をなして映る山上の大煙突に視線有する所謂層狀含銅黄鐵鑛を集めるであらう、それこ床にして黄鐵鑛並銅鑛の他そこの大鑛山の標本たるべ一少量の金、銀、鐵、亞製錬所のチムニーである鉛、方鉛をふくむと云はれ長い助川驛の棧橋を居り右しである、專ら上向階段法に側より通ずる專用電氣鐵道依り人力及鑿岩機を用へて

目上に謀るべし▲五黄　物事急には運ばざれども来遂ぐる事和の日▲六白　投機薬を除きての外は何事も進んでよき日▲七赤　守るよりも進むを先きにすべき日旅行に凶▲八白　内輪に事無き様和合を主とすれば吉となる▲九赤　幸運に向ふ日心圓滿なれば尤も早かるべし

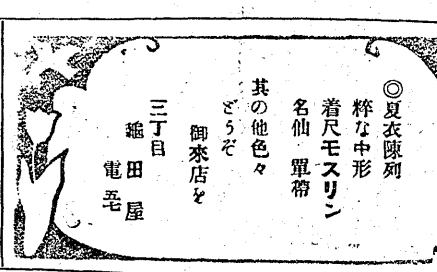
小說　死を超ゆる者

（37）

三上於菟吉作
布施平八郎畫

深夜の罪惡（四）

その叫び、其一次の間に



◎夏衣陳列
粋な中形
着尺モスリン
名仙　單帶
其の他色々
どうぞ
御來店を
三丁目
龜田屋
電五七

おさまり高低のはげしい採掘し其の跡は土砂及砕を道路にそうて車は大雄院の用へて充填なし特種の場合製錬所に向かふ、この地開は「リルカット」法を用ふ拓の氣風みなぎり、車の兩現在第一壓坑地側は新建築の家屋が多い車より第十壓地までを有しそ内の古老に耳を傾むければの又選鑛製錬の完備せる點近頃では毎日二三軒の落成に至つては實に我が鑛業界式が續くと云ふすばらしい模範と云よべきものが數發展振り丁度高田寺あたりアパートメントや文化住多々ある、その他電練場、電解室、分金銀室鑄銅室各般宅地の氣持がする、車窓の下には多くの人々が暑さをめげづ働いてゐる、車を居り早速當事務所に新聞記係の某氏を訪ひ快談しばし鑛内の樣子を書いた寫眞を間の手に依り動かされて行手にして大雄院　製錬所へ向ふ。先ず熔鑛爐の大きなことに驚く塊鑛粉鑛が熔鑛爐一番二番鑛一番二番鑛へめぐり更に細かな幾多の爐や室を通り電解槽反射爐かくしてこれが美しい鑛石になるまでの經路は專門家でないものには要解が困難な位であるむづかしい見學や他にゆづる係の人の話を由にこの鑛山の設備沿革を調べることにした。そしてこれらを報導することは研究の過程にある好參考になるからである、第一に簡單黒　多少の骨折はありとも下はあるが一寸この鑛山の自然の增收あるべし▲三碧沿革を書いて見よう古書の實力を願みず過大なる事に手を出せば失敗▲四綠　愼重にて事を處する時　失敗

幸ひ、父親の中二階は勇はなれとは、そう隔つてのはなかつた、彼は何人にも發見されずに自分の部屋へ歸つた

勇は部屋に歸るといきなり大急ぎで襖ぴたりと閉めて、マントのまゝで机の側に坐つた、そしてよこころからハンケチ包を取出したが開けて調べて見ようともせずに又復中した

「これでとき子さんは救はれた」

彼は怖れよりも滿足の念の方が强かつた、ひどく寒くなつたのでまだそのまゝになつてゐた背に友達と飲み合つたウヰスキーを一杯呑んだ、それから彼の頭に浮んで來たのはこの金をどうしてとき子の手に渡すべきかと云ふことが大なるめ

配の神であつた、これが盜み物でなかつたら、明朝すぐ彼女の家を訪ねて大威張りで渡してやつてもいゝが然し自分が一個の盜賊である限りは……

今日彼は父親にこれ〳〵の事情でこれ〳〵の金が欲しいと申出た時には、とき子の名も佐柄の名も口にしなかつたから匿名の郵便で送付しさへすれは足が付く筈はないと知つてゐた

そして上、彼は自分がすで盜棒とまで成り下つた以上、たとへ養父母が自分の罪を許してくれたにしても……又とき子が許してくれるも、もう何人の愛をも期待しようと思ふまいと決心

そしてそのまゝ又靜まり返

吉田眼科醫院

夜間診療
松村内科胃腸病科醫院
（平南町電話一〇七番）
内科　十二指腸虫病　専門部
外科　淋病　婦人病　皮膚病　専門部

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋　久　釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番　振替貯金口座東京一〇九五六番　一三九番
確實敏捷は久の生命なり

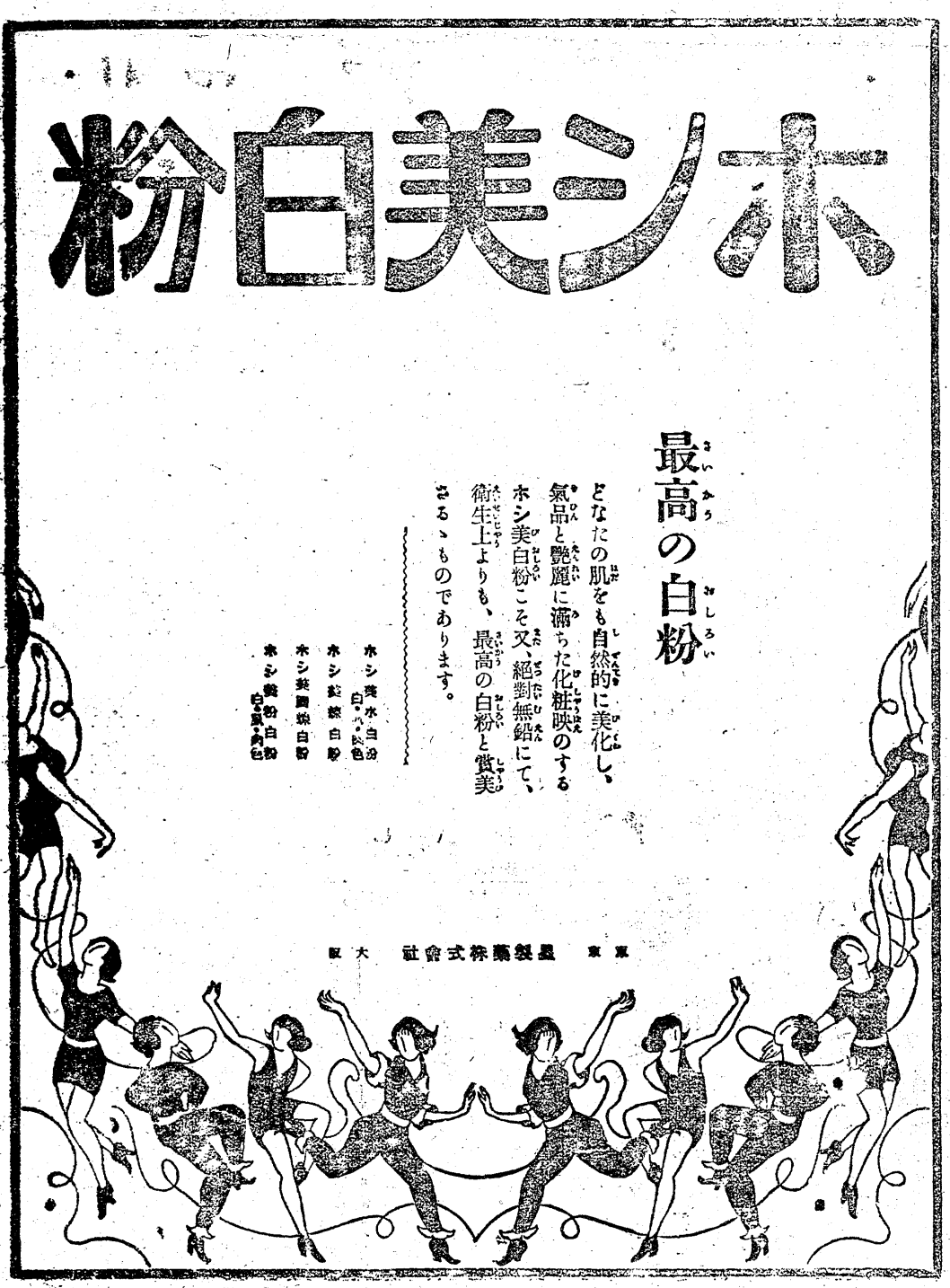
スッポン飴　一圓　三圓
スッポン酒　一圓
スッポンヘモクロビン錠　三圓
平町五丁目角
山野邊藥局

内臓外科
骨關節外科　専門　藤本順
整形外科
産婦人科　院長　木村寅次郎
平町新川町
外科　婦人科　木村醫院
電話一六四番

開業披露
齒口腔外科
齒科一般
平町古鍛冶町八八（平公園北入口）
神谷齒科醫院
日本齒科醫學士　神谷辰夫

安全第一
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモットトースル弊店ヲ精ニ御利用クダサイ
平町紺屋町
多田井商店
營業課目　勸業債券　復興債券　公債其他　質物一般取扱　兩替　金融
平町大工町

平町紺屋町
吉田眼科醫院



小城新聞

實行委員二百名
小柳知事に迫る
町民大會の決議で
委員五十名出縣

小名濱商港工學中止に對する面に時を移さず猛烈な復活運動を開始することゝなり如く十三日午後七時から同過般來上京中の陳情委員小町小學校講堂に於て町民大野務平氏から陳情經過の報會を開き有志一千餘名出席告あり午後十一時散會した先づ同町の元老たる小名濱が、右委員一行は十四日午郵便局長鈴木富太郎氏を座前十時實行委員飯塚榮一郎長に推し滿場一致で左の如く決議し直ちに實行に移ることゝなつた

決議文

小名濱町民は小名濱商港の中止延期に反對なり依つて極力施行中續行を行せられたし

右町民大會の名に依つて決議す

昭和四年七月十三日

斯くて實行委員として飯塚榮一郎外二百名を推し縣當局は勿論の中央要路の各方

けふ午前十時に
知事委員と會見
町民の一員となつて努力す
小柳知事の熱誠

（本日正午福島電話）小名濱町民大會の決議基き出發町民大會の決議基き出ふや小柳知事は福した委員飯塚榮一郎、福尾伊太郎、西九猛、近藤孝雄、齋野寛や外諸氏は十五日午前十時縣廳を訪問新任小柳知事會見を求の熱涙を揮つて工事中休反對の意

諸君の熱誠に感激の意を表し私も一個の小名濱町民となつて必らず反對實現に猪突する考へである

尚新任金森內務部長も未着任ゝ儘東京に在ゝから

平町に劇場がない
夏井龍平

平町市民諸君！諸君は劇場を持つてゐるか？ご冗談でせう、二つも三つもあるえじやないかと一笑に附されて御入ゝまさに違ひない。けれ共事實である。事實は全くなんと悲しいことに諸君は只一ケの劇場すら持ち合はせない現在なのである。そして亦あるひは言ふだらよかゞ芝居小屋の事なんかよりも吾人目下の急務は市制にある。

だが待ち給へ諸君。平町は完備せる公會堂すら持ちの歷史の最初の一頁が演劇かせるところの映畫某會所に於てゞ始められてゐるとでゐるのは言を俟たない。

平町市民諸君！諸君は劇場を持つてゐるか？ご冗談でせう、二つも三つもあるえじやないかと一笑に附されて、諸君の良心が胸に手をあてゝ考へたならば思ひ半に過ぎるかはあの格子天井を仰げば共である。事實は全くだらう——と脫線してには具眼の士には理解出來ると悲しいことに諸君は不可ない。閑話休題、筋をだらよ。素人藝太夫乃至藝一ケの劇場すら持ち合はは芝居小屋に持つて來るせない現在なのである。元來日本は演劇に依る黎して亦あるひは言ふだらよ明を排つた國なのである。かゞ芝居小屋の事なんか天の岩戶の前に行はれた舞よりも吾人目下の急務は市か姫の演劇に就いては茲制にある。に說明を俟たづして諸君御

だが待ち給へ諸君。平町存じの筈。全世界の全人類の歷史の最初の一頁が演劇かせるところの映畫某會所に於てゞ始められてゐるとでゐるのは言を俟たない。

平町市民諸君！諸君は劇場を持つてゐるか？ご冗談でせう、二つも三つもあるえじやないかと一笑に附されて、諸君の良心が胸に手をあてゝ考へたならば思ひ半に過ぎるかはあの格子天井を仰げば共である。事實は全くだらう——と脫線してには具眼の士には理解出來ると悲しいことに諸君は不可ない。閑話休題、筋をだらよ。素人藝太夫乃至藝一ケの劇場すら持ち合はは芝居小屋に持つて來るせない現在なのである。元來日本は演劇に依る黎して亦あるひは言ふだらよ明を排つた國なのである。かゞ芝居小屋の事なんか天の岩戶の前に行はれた舞よりも吾人目下の急務は市か姫の演劇に就いては茲制にある。に說明を俟たづして諸君御

だが待ち給へ諸君。平町存じの筈。全世界の全人類の歷史の最初の一頁が演劇かせるところの映畫某會所に於てゞ始められてゐるとでゐるのは言を俟たない。

平町を起點として
自動車環狀道路
內鄉を經て好間方面と
更に小名濱街道

石城郡內にける產業開發並に交通の利便をはかるため自動車專用道路等が計畫

更に小名濱街道
平町を起點として
自動車環狀道路
內鄉を經て好間方面と

石城郡內にける產業開發並に交通の利便をはかるため自動車專用道路等が計畫

連日九十度を超す
平地方の酷暑
平署の衛生取締
當分未だ〳〵
雨は降らぬ

小名濱測候所觀測

平町地方は五日をあます七日午前十時縣廳を訪問新任小柳知事會見を求の熱涙を揮つて工事中休反對の意

連日九十度を超す
平地方の酷暑
平署の衛生取締
當分未だ〳〵
雨は降らぬ

小名濱測候所觀測

平町地方は五日をあます七日午前十時縣廳を訪問新任小柳知事會見を求の熱涙を揮つて工事中休反對の意

小使さん入用
身体強堅なる男子一名
（委細本人來談）
至急採用
株式會社 七十七銀行
平支店
平町三 電四一四

小使さん入用
身体強堅なる男子一名
（委細本人來談）
至急採用
株式會社 七十七銀行
平支店
平町三 電四一四

入山上半成績
新坑十月に着炭

入山炭礦株式會社の上半期營業狀態は極めて良好な成績を收めてゐるが更に目下開鑿中にある第二斜坑はいよ〳〵本年十月末頃までには着炭する筈で同坑が着炭すれば一日百五十噸の出炭を有し殊に炭質等も極めて良好な爲非常に有望視されてゐるなほ同斜坑は一日百五十噸の出炭を有する炭

入山上半成績
新坑十月に着炭

入山炭礦株式會社の上半期營業狀態は極めて良好な成績を收めてゐるが更に目下開鑿中にある第二斜坑はいよ〳〵本年十月末頃までには着炭する筈で同坑が着炭すれば一日百五十噸の出炭を有し殊に炭質等も極めて良好な爲非常に有望視されてゐるなほ同斜坑は一日百五十噸の出炭を有する炭

急施町會
平町でけふ
委員上京運動
平署の中止或は繰延べ反對

平町では十五日午後二時より急施町會協議會を開き平町上水道工事起債二十萬圓並に平小鐵道と小名濱商港工事の中止或は繰延べ反對の具体的運動方法につき協議する筈である

急施町會
平町でけふ
委員上京運動
平署の中止或は繰延べ反對

平町では十五日午後二時より急施町會協議會を開き平町上水道工事起債二十萬圓並に平小鐵道と小名濱商港工事の中止或は繰延べ反對の具体的運動方法につき協議する筈である

高坂校優勝
平校惜敗す

平校對高坂校の野球試合は

高坂校優勝
平校惜敗す

平校對高坂校の野球試合は

漁港は駄目
根本對策樹立

四倉漁港の運命も現政府の施政方針のため實現極めて薄弱となつたので去る十一日四倉漁港期成同盟會町議六名が上京政民兩黨本部並に各關係筋を歷訪強力實現運動を試みて十三日小湊町議は運動經過報告のため一時歸京した同氏の報告に依れば政府の緊縮方針は非常に強固で既に着工した小名濱港まで中止の運命に瀕かれてゐる際として四倉漁港の如きは全く問題とさず全く

漁港は駄目
根本對策樹立

四倉漁港の運命も現政府の施政方針のため實現極めて薄弱となつたので去る十一日四倉漁港期成同盟會町議六名が上京政民兩黨本部並に各關係筋を歷訪強力實現運動を試みて十三日小湊町議は運動經過報告のため一時歸京した同氏の報告に依れば政府の緊縮方針は非常に強固で既に着工した小名濱港まで中止の運命に瀕かれてゐる際として四倉漁港の如きは全く問題とさず全く

四倉町の死活

海水浴客で
平驛雜踏
平日の二割增

平驛に於ける昨十四日の乘降客を聞くに海水浴に絕好の天候と日曜日のため乘客

海水浴客で
平驛雜踏
平日の二割增

平驛に於ける昨十四日の乘降客を聞くに海水浴に絕好の天候と日曜日のため乘客

蔬菜品評會
郡農會の主催で

石城郡農會主催の聯合夏作蔬菜品評會は次の各村に於て行はるが審査員は同會大山技師、柴田技手、縣農林

蔬菜品評會
郡農會の主催で

石城郡農會主催の聯合夏作蔬菜品評會は次の各村に於て行はるが審査員は同會大山技師、柴田技手、縣農林

復た御厩地內で
女學生を轢き倒す
何れも全治一週間の傷
運轉手取調べ中

石城郡湯本町鈴木自動車部高橋勘三（三三）は今十五日午前七時頃空自動車を運轉し平町に向ひ內鄉村字御厩國道を慕進中通學途中の同村字御厩平町平陽女學校一年生鈴木トヨ（四）同二年生下山田マサ（二六）の二名を發見突然轢き倒し兩名の顏面、頭部に重傷を負したので平町藤沼醫院に擔ぎ込み手當をなしてゐるが全治二週間の重傷で平署では運轉手を引致綜岡警部補司法主任以下の取調べを受けてゐる

復た御厩地內で
女學生を轢き倒す
何れも全治一週間の傷
運轉手取調べ中

石城郡湯本町鈴木自動車部高橋勘三（三三）は今十五日午前七時頃空自動車を運轉し平町に向ひ內鄉村字御厩國道を慕進中通學途中の同村字御厩平町平陽女學校一年生鈴木トヨ（四）同二年生下山田マサ（二六）の二名を發見突然轢き倒し兩名の顏面、頭部に重傷を負したので平町藤沼醫院に擔ぎ込み手當をなしてゐるが全治二週間の重傷で平署では運轉手を引致綜岡警部補司法主任以下の取調べを受けてゐる

澤渡村地內で
平町才槌小路菊地自動車部運轉手阿部重義（二六）は十三日午後九時十分頃澤渡村大字下宣地內縣道に差し蒐る

澤渡村地內で
平町才槌小路菊地自動車部運轉手阿部重義（二六）は十三日午後九時十分頃澤渡村大字下宣地內縣道に差し蒐る

武田氏榮轉
本社の營業課長に

東部電力平營業所長より郡山支社營業課長に今春榮轉した武田精一氏は今回同社東京本社營業課長に榮轉したが郡山支社營業課長には元平支店長渡邊秀治氏に決定した

武田氏榮轉
本社の營業課長に

東部電力平營業所長より郡山支社營業課長に今春榮轉した武田精一氏は今回同社東京本社營業課長に榮轉したが郡山支社營業課長には元平支店長渡邊秀治氏に決定した

喜劇 罪な狂人
五時間乘り廻して一文無し
人力車夫の御難

平驛前人力車詰所に十四日降りたので車夫が賃金を請求するや何ぞ計らん懷中無一文の上田中大將がどうの頭口ライオンが斯うのと大言壯語ばかりして金を拂はず却つて止むなく平署に來たものと判明したが氣の毒な事に車夫は不審走し平驛に

喜劇 罪な狂人
五時間乘り廻して一文無し
人力車夫の御難

平驛前人力車詰所に十四日降りたので車夫が賃金を請求するや何ぞ計らん懷中無一文の上田中大將がどうの頭口ライオンが斯うのと大言壯語ばかりして金を拂はず却つて止むなく平署に來たものと判明したが氣の毒な事に車夫は不審走し平驛に

水田に轉覆
莚では自動車が

水田に轉覆
莚では自動車が

電燈を消して
夫婦喧嘩
巡査部長仲裁

平町田町居住利根川金三郎（三五）は去る十三日午前三時頃夫婦喧嘩を始めたが同人は喧嘩と同時に自宅裏表兩入口を中から錠を下し電燈を消し內緣の妻長唄師匠田

電燈を消して
夫婦喧嘩
巡査部長仲裁

平町田町居住利根川金三郎（三五）は去る十三日午前三時頃夫婦喧嘩を始めたが同人は喧嘩と同時に自宅裏表兩入口を中から錠を下し電燈を消し內緣の妻長唄師匠田

自動車追突

平町新川町池田倉治（四二）は十二日午前十一時頃平町四丁目道路を荷車をひいて通行中後方から同町片澤自動車商會乘合自動車を運轉手追突し倉治は全治一週間の傷を負つた

自動車追突

平町新川町池田倉治（四二）は十二日午前十一時頃平町四丁目道路を荷車をひいて通行中後方から同町片澤自動車商會乘合自動車を運轉手追突し倉治は全治一週間の傷を負つた

參詣歸りに
絕命
汽車に轢れて

石城郡內鄉村大字高坂坑夫中川貫（三三）は十三日午後九時頃日時末定平町谷口驛で開催の筈で目下準備中である

參詣歸りに
絕命
汽車に轢れて

石城郡內鄉村大字高坂坑夫中川貫（三三）は十三日午後九時頃日時末定平町谷口驛で開催の筈で目下準備中である

木村代議士
谷口で送別會

代議士木村清治氏は萬國商事會議に日本代表として派遣の爲め來る八月一日出發の筈であるが本郡有志發起の許に來る廿四五日頃日時未定平町谷口驛で開催の筈で目下準備中である

木村代議士
谷口で送別會

代議士木村清治氏は萬國商事會議に日本代表として派遣の爲め來る八月一日出發の筈であるが本郡有志發起の許に來る廿四五日頃日時未定平町谷口驛で開催の筈で目下準備中である

小使さん入用
身体強堅なる男子一名
（委細本人來談）
至急採用
株式會社 七十七銀行
平支店
平町三 電四一四

營業報告
第參期 貸借對照表

昭和四年五月卅一日現在

資產之部（借方）

拂込未濟資本金		壹萬〇〇〇、〇〇〇
現金	一、六七一、一五九	
預金	九〇、五三二、九八〇	
	五八、二〇〇	
郵便貯金		一、〇三五、二〇〇
振替貯金		一、二六八、六九五
假拂金	四、三三五、四五五	
營務什器	七、〇三二、三一〇	
工場什器	二、一五五、四三〇	
營務備品	七、六五七、六五〇	
工場備品	七、三五五、六〇〇	
諸機械	七、四八一、五六〇	
建家及建設物	三、一三七、七〇〇	
工場敷地	五、九二四、一八〇	
創業費	四、五二一、四八〇	
繰延勘定	一、〇四三、七六〇	
別途濕獲立替金	七、二九七、九一〇	
受取手形	五〇、〇〇〇	
漁獲立替未收金	四七、八四四、五〇〇	
貸期在庫品	九、七九四、〇一〇	
計	一、一〇七、二五四、二三五	

負債之部（貸方）

資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
受入金	一、九六六、二〇〇、〇〇〇
借買金	五、〇〇〇、〇〇〇
懸拂金	二、一四三、八五〇
未拂金	一七、一三一、四四〇
漁獲立替未拂買代金	四七、八三三、八五〇
前期繰越金	八三、八九〇
支拂手形	三、〇〇〇、〇〇〇
漁業組合未拂宿口錢	一、二七九、九五五
聯合積立金	二、六七〇、〇〇〇
法定積立金	二、〇〇〇、〇〇〇
當期純益金	三、二六八、六九〇
計	一、一〇七、二五四、二三五

利益金處分案

一金壹萬貳千百七拾八圓六十九錢也　當期純益金

一金四千參百拾貳圓八拾九錢也　前期繰越金

合計金壹萬六千五百九拾壹圓也

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

一金壹千圓也　法定積立金

一金五千九百貳拾四圓拾九錢也　積立金

一金七千圓也　固定資本鎖却金

一金貳千六百六拾七圓四拾錢也　後期繰越金

右ノ通リニ候也

和昭四年五月三十一日

取締役社長　小野晋平

取締役　白井一郎

同　金成通

同　渡邊繁太郎

同　諸橋守次

同　福尾伊太郎

支配人　田倉孝雄

右調査候處相違無之候也

監査役　鈴木辰二郎

同

追テ取締役改選ノ結果例レモ再選重任セリ

營業報告
第參期 貸借對照表

昭和四年五月卅一日現在

資產之部（借方）

拂込未濟資本金		壹萬〇〇〇、〇〇〇
現金	一、六七一、一五九	
預金	九〇、五三二、九八〇	
	五八、二〇〇	
郵便貯金		一、〇三五、二〇〇
振替貯金		一、二六八、六九五
假拂金	四、三三五、四五五	
營務什器	七、〇三二、三一〇	
工場什器	二、一五五、四三〇	
營務備品	七、六五七、六五〇	
工場備品	七、三五五、六〇〇	
諸機械	七、四八一、五六〇	
建家及建設物	三、一三七、七〇〇	
工場敷地	五、九二四、一八〇	
創業費	四、五二一、四八〇	
繰延勘定	一、〇四三、七六〇	
別途濕獲立替金	七、二九七、九一〇	
受取手形	五〇、〇〇〇	
漁獲立替未收金	四七、八四四、五〇〇	
貸期在庫品	九、七九四、〇一〇	
計	一、一〇七、二五四、二三五	

負債之部（貸方）

資本金	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
受入金	一、九六六、二〇〇、〇〇〇
借買金	五、〇〇〇、〇〇〇
懸拂金	二、一四三、八五〇
未拂金	一七、一三一、四四〇
漁獲立替未拂買代金	四七、八三三、八五〇
前期繰越金	八三、八九〇
支拂手形	三、〇〇〇、〇〇〇
漁業組合未拂宿口錢	一、二七九、九五五
聯合積立金	二、六七〇、〇〇〇
法定積立金	二、〇〇〇、〇〇〇
當期純益金	三、二六八、六九〇
計	一、一〇七、二五四、二三五

利益金處分案

一金壹萬貳千百七拾八圓六十九錢也　當期純益金

一金四千參百拾貳圓八拾九錢也　前期繰越金

合計金壹萬六千五百九拾壹圓也

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

一金壹千圓也　法定積立金

一金五千九百貳拾四圓拾九錢也　積立金

一金七千圓也　固定資本鎖却金

一金貳千六百六拾七圓四拾錢也　後期繰越金

右ノ通リニ候也

和昭四年五月三十一日

取締役社長　小野晋平

取締役　白井一郎

同　金成通

同　渡邊繁太郎

同　諸橋守次

同　福尾伊太郎

支配人　田倉孝雄

右調査候處相違無之候也

監査役　鈴木辰二郎

同

追テ取締役改選ノ結果例レモ再選重任セリ

平町南町
大和田醫院
雪話一七〇番

平町南町
大和田醫院
雪話一七〇番

高久村二毛作
石城郡高久村の二毛作品評會は廿二日午後一時から同村役場に於て賞品の授與式が

高久村二毛作
石城郡高久村の二毛作品評會は廿二日午後一時から同村役場に於て賞品の授與式が

平稅の異動地
整理協議
町村長が參集

平稅務署では管內各町村の

平稅の異動地
整理協議
町村長が參集

平稅務署では管內各町村の

貨物係打合會
高萩關、赤井、小川鄉の各郡の貨物係の打合會は十五日午前九時より平驛樓上會議室に開會した水戶運輸事務所からは鈴木營業主任、川田書記が出席した

貨物係打合會
高萩關、赤井、小川鄉の各郡の貨物係の打合會は十五日午前九時より平驛樓上會議室に開會した水戶運輸事務所からは鈴木營業主任、川田書記が出席した

磐城水產
株式會社

磐城水產
株式會社